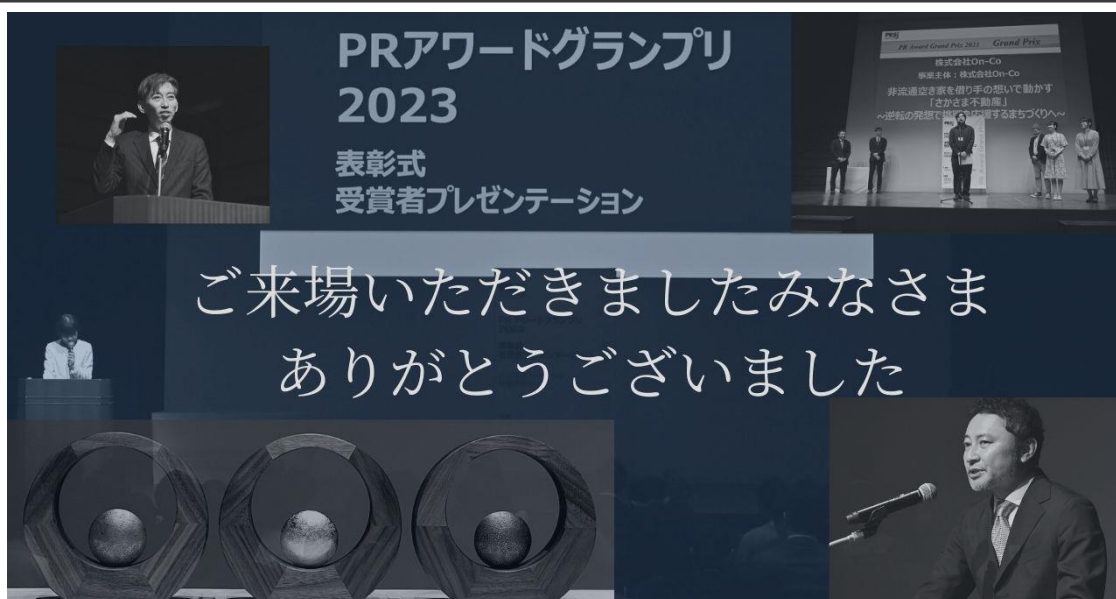


# PRSJ NEWS

2024年1月号 No.358



2023年PRアワードグランプリ表彰式の様子 受賞者コメントは5Pから掲載

## TOPICS

### MESSAGE

理事長新年挨拶

PRSJ 理事長 牧口 征弘

1月入会の皆様のご紹介

### ATTENTION

「PRアワードグランプリ2023」審査員長講評と受賞者からのコメント

「PRアワード受賞事例公開セミナー」を開催！

緊急記者会見トレーニングを2月15日開催

P3

P4

P5

P10

P11



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 牧口 征弘

# 目 次

1月~2月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	理事長新年挨拶	P3
ATTENTION(お知らせ)	1月入会の皆様のご紹介	P4
”	「PRアワードグランプリ 2023」審査員長講評と受賞者からのコメント	P5
”	「PRアワード受賞事例公開セミナー」を開催	P10
”	緊急記者会見トレーニングを2月15日開催	P11
”	第35回1次試験 申込み締め切り迫る！	P12
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P13
事務局だより		P14

# 1～2月 セミナー・イベント スケジュール

## 【オンデマンド視聴・通年開講】

パブリックリレーションズ入門 Web 講座 2023 講 師 : 東京都市大学 都市生活学部/大学院環境情報学研究科  
准教授 北見幸一氏他、全9名

PR プランナー1 次試験対策講座 講 師 (株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名

PR プランナー2 次試験対策講座 講 師 三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名

PR プランナー3 次試験対策講座 講 師 (株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名

## 【オンデマンド視聴】

PR ケーススタディ 2023 <第 1 回> 日 時 : 7月18日(火)～2024年3月28日(木)  
テーマ : 卓越した P R プロジェクトから成功のポイントを学ぶ

PR ケーススタディ 2023 <第 2 回> 日 時 : 10月24日(火)～2024年3月28日(木)  
テーマ : 社会課題の解決をめざす P R のチャレンジ

## 【オンデマンド視聴】

PR 集中テーマスタディ <第 1 回> 日 時 : 7月25日(火)～2024年7月31日(水)  
テーマ : リスクコミュニケーション(危機管理広報)

PR 集中テーマスタディ <第 2 回> 日 時 : 11月22日(水)～2024年11月22日(金)  
テーマ : 戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開

## 【オンデマンド視聴】

パブリックリレーションズ中堅実務者講座 日 時 : 10月26日(木)～2024年4月26日(木)  
テーマ : 「広報」の存在価値を高めるには?  
講 師 : 森ビル株式会社 特任執行役員 広報室長 野村秀樹氏

## 【会場開催】

緊急記者会見トレーニング 日 時 : 2月15日(木) 13:30～17:30  
テーマ : 法的視点をふまえた危機管理広報と緊急記者会見  
講 師 : 西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士 鈴木悠介氏

## 【会場開催】

PR アワード受賞事例公開セミナー 日 時 : 2月22日(木) 18:30～21:00  
テーマ : 3つの「視座」から展望するこれからの P R  
講 師 : 本田哲也審査委員長、P R アワード受賞 4 エントリー関係者  
会 場 : 富士ソフト アキバプラザ「セミナールーム 1」

新春 P R フォーラム 2024・賀詞交歓会 日 時 : 1月22日(月) 15:00～20:00  
会 場 : 国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」「樺山・松本ルーム」

## 【ハイブリッド開催】

第 45 回広報ゼミ 日 時 : 1月25日(木) 16:00～17:45  
テーマ : 広報パーソンの魅力向上委員会～キャリア開拓の先駆者に学ぶ #2～  
講 師 : ヤマト運輸株式会社 執行役員 コミュニケーション担当 細谷祥久氏  
日本マクドナルド株式会社 広報部 部長眞野昌子氏  
会 場 : 近畿大学東京センター及びZoomミーティング

## 【会場開催】

2024 年新春フォーラム関西 日 時 : 1月29日(月) 17:30～19:00  
テーマ : 小説家が想う関西の未来  
講 師 : 作家 玉岡かおる氏  
会 場 : 大阪中之島美術館 1 階ワークショップルーム

## 1月～2月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(1月度)	日時	: 1月11日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(2月度)	日時	: 2月8日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(1月度)	日時	1月24日(水)	13:30～15:00
		会場	事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(1月度)	日時	: 1月25日(木)	14:00～15:30
		会場	: ハイブリッド開催	
◇国際・交流委員会	(1月度)	日時	: 1月12日(金)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇広報委員会	(1月度)	日時	: 1月25日(木)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇顕彰委員会	(1月度)	日時	: 1月31日(水)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(1月度)	日時	: 1月10日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(1月度)	日時	: 1月16日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	

## 理事長新年挨拶



**PRSJ 理事長 牧口 征弘**  
**公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団 参与**

まず初めに、年初からの災害や事故に遭われ、被害を受けられた方々への御見舞を申し上げ、命を落とされた方々の御冥福をお祈り申し上げます。

本年もまた、良きこと歓迎されざること、期待していたこと想定外のこと、様々なことが我々を訪れ、あるいは襲うことになると思います。

そのような際に、何を感じ、どう考え、いかなる行動を起こしていくか。一つ一つの感情の動き、意思決定、新たな一步の踏み出し。それらが全て、次の瞬間の社会を形作っていく基礎になっていくはずで

す。これをコミュニケーションの観点から見ると、こんな思いが浮かんできます。一人だけで思い、自分だけで何かをやるより、他の誰かと共になす方が、うまくいく確率が高まるのではないかと。

「共有」。まさにコミュニケーションの根源価値にあたるものです。

人間誰しも、自分のことをもっとわかってもらいたい、そんな本能的とも言える欲求があるのではないのでしょうか。個々のそういった思いがつながって、もっとわかり合いたい、もっと通じ合いたいという願いも同様にあると思います。

もうお気づきかと存じますが、私たちの従事するパブリックリレーションズの仕事の本質も、この「わかり合い」「通じ合い」にあります。無知は恐怖を生み、恐怖は暴力を生む、とも言います。大げさな考えになるかもしれませんが、コミュニケーションの力は世の中の平和にもつながる可能性を秘めています。

人も社会も未曾有の進化と変化を遂げていくであろう、ここから先の時代。コミュニケーション産業と、その中に位置するパブリックリレーションズという仕事もまた、未知の領域へと拡張していく期待感に満ち溢れています。

当協会も、時代の要請に的確に応えるべく、各種事業を進めて参ります。関係者の方々には引き続き、なお一層の御支援を賜れば幸いに存じます。

末筆となりましたが、本年もよろしくお願いいたします。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、1月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

### 野原グループ株式会社



建設DXで、社会を変えていく

野原グループ株式会社は、1598(慶長3)年に綿問屋として創業し、業態変容を繰り返しながら、1947年の会社設立以降は建設産業で社会インフラと住を支えています。野原グループのDNAは、常に新しいものに取り組み、時代の変化を乗り越えるところにあります。近年は、潮目を迎えている建設業界の「変革のフロントランナー」として、建設DX推進事業で、社会をよりよく変えていくことを目指しています。その推進に、「広報」は重要な役割を果たすと考えています。PRSJへの入会により、広報の最新動向や他社活動事例を参考にしながら、効果の可視化とPDCAの実践によるロジカルな広報活動で、企業成長への貢献を目指しています。

## 「PRアワードグランプリ2023」 審査員長講評と受賞者からのコメント

### <本田 哲也・審査員長の講評コメント>

コロナ禍の終息を迎えることができた今年は、昨年に引き続きおよそ100件のエントリーをいただきました。日本社会におけるパブリックリレーションズへの理解と関心が進み、多様な取り組みが生まれていることの証だと思えます。

審査委員長として、今年は、昨年に引き続き以下の3つの審査にあたっての視座を示させていただきました。

- 1、「パーパス（社会的存在意義）」はあるか？：社会に向き合った、社会的な意義のある活動になっているか。
- 2、「自分（たち）らしさ」が感じられるか？：当該企業/ブランドがその活動をするオーセンティシティー（正当性・真正性）があるか。
- 3、「巻き込む力」は発揮されたか？：多様なステークホルダーを巻き込み、共創が起こるような設計がなされ、活動の持続性につながっているか。

本年は喜ばしいことに、エントリーが実に「粒ぞろい」の印象で、上位受賞の決定には審査委員も悩ましい判断を迫られたと思えます。とくにゴールド以上の3エントリーはどれも評価が高いものでした。そのような中、見事にグランプリに輝いた、株式会社On-Coの「非流通空き家を借り手の想いで動かす『さかさま不動産』～逆転の発想で挑戦を応援するまちづくりへ～」は、社会課題に見出した斬新なPR発想が大きく評価され、審査委員の「満場一致」をもってグランプリ選出となりました。

グランプリ受賞プロジェクトのコンセプトでもある「さかさま」は、パブリックリレーションズの本質的な視座のひとつでもあります。世の中に横たわる様々な課題を「さかさま」から捉えることで、新たな景色が広がることもある。まさに、このように社会を捉えることこそ、これからのPRプロフェッショナルに求められる、重要なアプローチだと思います。あらためて受賞された企業・組織団体の皆様に敬意を表し、これからも日本のすべてのパブリックリレーションズの取り組みが素晴らしい成果を生むことを願っています。

## <受賞者コメント>

グランプリ：受賞エントリー（1件）

■非流通空き家を借り手の想いで動かす「さかさま不動産」

～逆転の発想で挑戦を応援するまちづくり～

■エントリー会社／事業主体：(株)On-Co

■コメント：社会を変えるには、PRの視点が必須。という概念を持ってさらに挑戦を続けます。評価して頂き、ありがとうございました。



ゴールド：受賞エントリー（2件、エントリー登録順）

■日本に眠る5兆円の敷金をスタートアップの成長資金に変える  
「敷金を成長資金に。プロジェクト」

エントリー会社：(株)はずむ

事業主体：(株)日商保

コメント：PRを通じて、敷金という見過ごされてきた業界の商習慣を、新たな社会のための価値に変換することができた。



■守るのは、頭と地球。HOTAMET

エントリー会社／事業主体：甲子化学工業／猿払村／  
TBWA HAKUHODO

コメント：“ものがたり”のある“ものづくり”を。  
新しい当たり前を目指して、これからも私たちの挑戦は続きます。





シルバー：受賞エントリー（6件、エントリー登録順）

■水族館の水槽を、サステナブルファッションを通じた海洋保全提唱の場に『サンゴショーウィンドウ』

エントリー会社：(株)博報堂／(株)オズマピーアール

事業主体：(株)海遊館

コメント：同じ志を持つ海遊館様と各ブランドが協力し合うことで、前代未聞の海洋保全アクションを実現することができました。



■日清食品の「完全メシ」事業

エントリー会社：(株)博報堂

事業主体：日清食品(株)

コメント：「完全メシ」事業を通じて「好きなものを、好きなときに、好きなだけ食べられる世界」の実現を目指してまいります。

※ご都合により授賞式にご出席叶いませんでした

■夏、子どもの高さは大人より7℃も暑い！

グリーン ダ・カ・ラの熱中症対策啓発「こども気温」プロジェクト

エントリー会社：サントリー食品インターナショナル(株)／(株)電通  
／(株)電通 PR コンサルティング

事業主体：サントリー食品インターナショナル(株)

コメント：社会課題解決を発起点としたブランド活動を評価いただき、ありがとうございます。今後も GREEN DA・KA・RA として新たな取組みにチャレンジしてまいります。



■こどもの朝食欠食・孤食問題をこども食堂と共に解決

「ケロッグ 毎日朝ごはんプロジェクト」

エントリー会社：(株)プラップジャパン

事業主体：日本ケロッグ(同)

コメント：今回の受賞に関わってくださった皆様に感謝し、より一層多くの子どもたちの笑顔を守る活動をしてまいります。



■ジュエリーそのものを見てほしい。

ブランド名を伏せて現れた謎のジュエリーショップ『匿名宝飾店』

エントリー会社／事業主体：(株)エフ・ディ・シィ・プロダクツ

コメント：ブランド名を伏せた謎のショップ匿名宝飾店。その正体は私たち、4℃でした。今回の受賞、心より感謝申し上げます。



## ■ うま味調味料「味の素®」統合 PR

～50年もの誤解を乗り越え、食と健康の課題解決へ～

エントリー会社：Edelman Japan(株)

事業主体：味の素(株)

コメント：ブランドの根幹に向き合い、多くのインフルエンサーや協力者の皆さんと一緒に進めてきたプロジェクトでした。栄えある賞をありがとうございます。



## ブロンズ：受賞エントリー（7件、エントリー登録順）

### ■ 「全員広報」が叶えた住宅診断マーケットの創出

エントリー会社／事業主体：(株) さくら事務所

コメント：ありがとうございました。応援や信頼こそが会社最大の資産。経営方針である全員広報で今後も人と不動産のより幸せな関係に貢献してまいります。

### ■ 気づいていたけど、みんなが諦めていた“子遊び疲労”解消へ。

整体つきキッズパーク「ホグシーランド」

エントリー会社：(株) オズマピーアール

事業主体：ピップ(株)

コメント：本企画では、子育て中のママパパの隠れた課題感を表層化することができました。今後の展開にもぜひご期待ください。

### ■ 冷凍餃子フライパンチャレンジ

～1つのクレーム投稿から始まった「永久改良」の共創活動～

エントリー会社：(株) 本田事務所

事業主体：味の素冷凍食品(株)

コメント：企業の情熱を可視化することで、たった一つのSNSの投稿を、多くの人々との共創につなげることができました。

### ■ 建築現場の労働災害“0”を目指した「ラジオ体操 第バ」

エントリー会社：モバーシャル(株)／(株) 東北新社

事業主体：東急建設(株)

コメント：約100年前からある「ラジオ体操」。方言 Ver や外国語 Ver で、いつもより笑顔で体操してみてください！

### ■ 「かわいい！」だけだと思ってない？

「飼育員さんだけが知ってる あのペットのウラの카오」

エントリー会社：(株) 博報堂ケトル

事業主体：WWF ジャパン

コメント：このたびは光栄な賞を頂き、ありがとうございます。  
PRの力で、これからも野生生物を守る活動を続けていきます。

## ■酪農家と子どもを救うソーシャルアクション【土日ミルク】

-給食のない休日は、おうちで牛乳を飲もう-

エントリー会社：(株)オズマピーアール

事業主体：(一社)Jミルク

コメント：この度は、輝かしい賞を頂戴し、関係者一同、大変嬉しく思います。  
これからも「土日ミルク」を推進していきます。

## ■循環型社会の実現に向けて、

地方自治体がメルカリに“まだ使える”粗大ごみ・備品を出品

エントリー会社：(株)メルカリ

事業主体：(株)メルカリ

コメント：循環型社会の実現に向けて、今後もメルカリと自治体の連携に注力して参りますので、ご  
注目いただければ幸いです。

## 奨励賞：受賞エントリー（1件）

## ■メディア専用デジタルプラットフォーム「PR Relate」活用による新たな広報の価値づくり

エントリー会社：パナソニック(株)

事業主体：パナソニック(株)デザイン本部 コミュニケーションデザインセンター

コメント：メディアとのデジタル接点の強化、双方向コミュニケーションの活性化に取り組みなが  
ら、パナソニック BtoC 領域の取り組みをメディアを通じて生活者にお届けしていきたい  
と思っています。



## パブリックリレーションズ実務講座 2023

### 「PRアワード受賞事例公開セミナー2024」を開催

～2月22日、富士ソフト アキバプラザにて4年ぶりの会場開催～

教育委員会

来る2月22日、協会は、『PRアワードグランプリ 2023』で「グランプリ」をはじめとする栄誉あるアワードを受賞したPRプロジェクト事例をとり上げ、その成功のポイントを探る「PRアワード受賞事例公開セミナー2024」を、東京・秋葉原の「富士ソフト アキバプラザ」にて開催いたします。かねてよりのコロナ禍のため2021年からはオンラインセミナーとして実施してきた本セミナー。今回は2020年から4年ぶりとなる会場セミナーとして開催の予定です。

わが国のPRとともに歩み、その潮流を示す「PRアワードグランプリ」。昨年12月に各賞が決定した「PRアワードグランプリ 2023」では、96のエントリーを対象とした審査の結果、「グランプリ」、「ゴールド」2事例、「シルバー」6事例、「ブロンズ」7事例が選出されました。今回のセミナーでは、この中から「グランプリ」と2つの「ゴールド」、さらにシルバー1エントリーを選び、プロジェクトを推進したメンバー自身から秘められたポイントをご紹介します。

また、「PRアワードグランプリ 2023」の審査では本田哲也委員長を中心とする10名の委員により厳正な審査が行われました。そこでは、①「パーパス（社会的存在意義）」はあるか、②「自分（たち）らしさ」が感じられるか、③「巻き込む力」は発揮されたか、の3つの「視座」が重視されました。この「視座」から各エントリーがどのように評価されたのか、本田委員長には、審査を通じて確認されたこれからのPRに求められる新たな発想、考え方、PRの展望などについてご講演いただく予定です。

本セミナーの詳細及びお申込みについては、1月下旬から協会Webサイトでご案内します。

#### ■「PRアワード受賞事例公開セミナー2024」における講演内容

内 容	エントリー会社／事業会社
「2023年度PRアワードグランプリ」を振り返って	PRアワードグランプリ 2023 審査委員長 本田哲也氏
<グランプリ受賞> 非流通空き家を借り手の想いで動かす「さかさま不動産」～逆転の発想で挑戦を応援するまちづくりへ～	エントリー会社:(株)On-Co 事業主体:(株)On-Co
<ゴールド受賞> 日本に眠る 5兆円の敷金をスタートアップの成長資金に変える「敷金を成長資金に。プロジェクト」	エントリー会社:(株)はずむ 事業主体:(株)日商保
<ゴールド受賞> 守るのは、頭と地球。HOTAMET	エントリー会社: 甲子化学工業・猿払村・TBWA HAKUHODO 事業主体: 甲子化学工業・猿払村・TBWA HAKUHODO
<シルバー受賞> 登壇エントリー調整中	

※上記は1月中旬現在の予定です。変更の際はご了承ください。

(事務局・真部)



パブリックリレーションズ実務講座 2023

## 法的視点をふまえた危機管理広報と緊急記者会見

### 危機対応の現実感・緊迫感を体感する 模擬会見シミュレーション・トレーニング

教育委員会

来る2月15日、協会では「PRトレーニングプログラム」の第1回講座として、「法的視点をふまえた危機管理広報と緊急記者会見～危機対応の現実感・緊迫感を体感する模擬会見シミュレーション・トレーニング」を六本木アカデミーヒルズにて開講いたします。

「PRトレーニングプログラム」は、PRスキルの向上を目的とし、ワークショップ形式によりスキル・メソッドを習得する講座です。パブリックリレーションズ業務に経験がありいっそうのスキル向上をめざす中堅実務者を対象として、重要度は高いがあまり学ぶ機会の得られないスキル、新たに注目されているPR技法などをテーマとして、対面開催を基本とし経験と実績ある講師の指導を通じてそのポイントの習得をめざします。

第1回となる本講座では、企業・組織の不祥事対応など危機管理等を多く手がけられている、西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士の鈴木悠介氏を講師にお招きし、ポイントをおさえた講義と緊急事態を想定した模擬記者会見のシミュレーション・トレーニングを通じて危機管理広報の心構えと基本的対応を学びます。講義では、広報的視点にとどまることなく、中堅実務者が留意しておくべき法的観点、新聞、テレビ等の社会部系記者への対応に配慮する広報方針の立案、注意点などについてご解説いただきます。また、シミュレーション・トレーニングでは、企業危機の発生時における模擬緊急記者会見を実施し、緊急会見における緊迫感、現実感を疑似的に体験いただき広報対応のポイントについて理解を深めていただきます。

企業に対する社会からの監視の目が厳しさを増す今、望まざるにもかかわらず発生する緊急事態。万が一の折には事態解決への決意と心構えをもって果敢に対峙し、誠意あるコミュニケーション活動を行うことが広報担当者の責務です。広報や危機管理担当の部門、PR会社及びPR関係会社の皆様のご参加をお待ちします。

なお、講座の概要および受講申込みは、協会 Web の講座ページで1月中旬からご案内します。

#### <講師紹介>

西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士

鈴木悠介氏

2007年東京大学法学部卒業後、TBS テレビに入社。外信部、社会部等で報道記者として勤務する中で「評論家で終わるのではなく、当事者と共に、問題の解決にあたりたい」との思いを強くし弁護士を目指す。現在は、西村あさひ法律事務所にて、企業不祥事対応や訴訟案件等に従事。2013年第二東京弁護士会弁護士登録。2014年公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 正会員登録、2017年一般社団法人人工知能学会正会員登録。

<https://www.nishimura.com/ja/people/yusuke-suzuki>



(事務局・真部)

## PRプランナー資格認定制度／検定試験

# 第 35 回 1 次試験 申込み締め切り迫る！

## 仮申込期間は 1 月 26 日(金)まで

## — 試験期間は、2 月 10 日(土)～25 日(日)まで —

資格委員会

2024 年度前期（第 35 回）1 次試験の受験に必要な仮申込が 1 月 26 日（金）で締切となります。試験期間は、2024 年 2 月 10 日（土）～2 月 25 日（日）の 16 日間を実施します。本 1 次試験は広報・PR に関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに 15,373 名が受験し、11,421 名が合格しております。次回の試験は 8 月となりますので、今回受験をご検討の方はお早めにお申込みください。

- 全国に開設されたテストセンターで、PC を使って受験していただきます
- 16 日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy（ネットバンキング）からお選びください（手数料は無料です）
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください

### 【1 次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



### 【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第 35 回 1 次試験 実施概要】

試験期間	2024 年 2 月 10 日（土）～2 月 25 日（日）
仮申込み期間	2023 年 12 月 1 日（金）正午～2024 年 1 月 26 日（金）23:59 まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります（本申込みに必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2023 年 12 月 1 日（金）正午～2024 年 2 月 2 日（金）23:59 まで ※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります（受験日時・会場選択、受験料のお支払い）
合否発表	2024 年 3 月 6 日（水）正午
試験出題数／試験時間	50 問／80 分
合格基準	全出題数に対して正答率 70%以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR概説（2023 年度版）

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記の PR プランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



## 協会掲載記事

### ●1月1日(月) 『月刊広報会議』(宣伝会議)2月号

『月刊広報会議』2024年1月号における当協会の連載コラムで、当協会が開催した「“ひとり広報” MEET UP」の初開催について掲載されました。

コラムでは、開催日と会場の紹介をはじめとして、事例紹介、パネルディスカッション、交流会など当日行われた内容、ハイブリッド開催されたことなどが紹介されています。

### ●1月1日(月) 『月刊宣伝会議』(宣伝会議)2月号

『月刊宣伝会議』2024年2月号における「注目ニュースは？ 広告界ニュースダイジェスト(2)」のページで、当協会が2023年度の「PRアワードグランプリ」の受賞作品を発表したことがとり上げられました。記事では96件の応募があったことをはじめ、グランプリに「非流通空き家を借り手の想いで動かす『さかさま不動産』～逆転の発想で挑戦を応援するまちづくりへ～」が、ゴールドは2件が選出されたことが紹介されています。

### ●1月1日(月) 『月刊トッププロモーションズ 販促会議』(宣伝会議)2月号

『月刊販促会議』2024年2月号における「INFORMATION」のページで、当協会が2023年度の「PRアワードグランプリ」において、グランプリに「非流通空き家を借り手の想いで動かす『さかさま不動産』～逆転の発想で挑戦を応援するまちづくりへ～」が受賞し、さらに「ゴールド」2件、「シルバー」6件、「ブロンズ」7件、「奨励賞」1件が決定したことが紹介されました。またグランプリの選定に関する本田審査委員長のコメントにも触れられています。

### ●1月1日(月) 『月刊ブレン』(宣伝会議)2月号

『月刊ブレン』2024年2月号における「クリエイティブニュース」のコーナーで、当協会が2023年度「PRアワードグランプリ」の受賞作品を発表したことがとり上げられました。

記事では、グランプリに「非流通空き家を借り手の想いで動かす『さかさま不動産』～逆転の発想で挑戦を応援するまちづくりへ～」が受賞し、さらに「ゴールド」2件、「シルバー」6件、「ブロンズ」7件などが決定したことが報じられています。また「グランプリ」の選定に関するポイント、本田審査委員長のコメントも紹介されています。

### ●12月7日(木) 『CM通信』(ユニ通信社)No.5762

『CM通信』2023年12月7日号において当協会が「PRアワードグランプリ2023」の各賞を決定したことが報じられました。掲載は2ページにわたり、「PRアワードグランプリ」の目的や各賞選定の「視座」、受賞式の開催に触れ、さらに各賞のタイトルがエントリー会社名、事業主体名とともに紹介されています。

### ●12月8日(金) 『日経ビジネス』(日経BP)12月11日号

『日経ビジネス』2023年12月11日号の特集記事「炎上防止の新流儀 その記者会見、火に油」の「PART3 早く誠実に、正確に 最後は日ごろの行い」における記事中、昨年ジャニーズ事務所が行った会見において問題となったNGリストに関し当協会が表明した、PR活動における「構成および中立性・公平性の原則」についてのコメントが紹介されています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]



事務局の青田です。

あけましておめでとうございます。  
元旦早々から災害と事故・事件が立て続けに発生し、何とも落ち着かない年の初めになってしまいましたね。でも個人的には、様々なことが様々な思いや考えに基づいて同時多発的に起きているこの“揺れ”は、次なる時代を生み出すための“胎動”のように思われます。

ということで、この1か月のトピックスを以下に。

## ■久しぶりのリアル忘年会、新年会ラッシュ！

各委員会・部会で4年ぶりの対面での忘年会、新年会が連日のように開催されています。

久しぶりの忘年会はやはり大いに盛り上がり、会員同士のよき交流の場になりました。が、一方で年明けからの新年会は少し異なる様相も。当協会も主催者側で運営に参画した「広告界合同年賀会」が1月5日に開催されましたが、能登半島地震を受けて、恒例の鏡割りやいわゆる歌舞音曲にあたる出し物は中止となりました。「またか・・・」とデジャヴを見るような感じですが、願わくば宴会に水を差す悲劇がこれ以上起こりませんように。(広報・PRの仕事としては、これらをすべて想定内にしておくことが大切なのですが)

## ■1月22日は新春PRフォーラム。お楽しみに！

今年は広報出身の経営トップ、西武ホールディングスの西山社長にご講演いただきます。

西山さんは以前、当協会の副理事長もされていた方で、まさに我々の先輩です。

「広報×経営」をテーマにお話しいただきますが、おりしも日本広報学会で昨年発表された「広報の新たな定義」では「広報とは・・・(中略)・・・経営機能である」と明確に提示されており、事業会社で広報を担当する方々からは「よくぞ言ってくれた」との反響が多く寄せられているとのこと。

歓迎すべき状況であることは間違いありませんが、一方で、先日この講演の打ち合わせで西山社長にお会いした際には、「広報出身であることに対する周りの期待値が思った以上に高く、スピーチひとつするにしても大変だ」としみじみおっしゃっていました。(なるほど！)

昨年就任された後の興味深いエピソードをたくさん聞かせていただけそうです。ご期待ください！

(事務局長 青田)



編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F